

ご両家の準備品

婿 方	嫁 方
扇子 男…白扇 …モーニング扇子(洋服) 女…金銀扇子	同 左
広蓋・ふくさ・風呂敷 (結納金を持参いただくのに使用)	広蓋・切手盆・掛ふくさ (受書・祝儀をお渡しするのに使用)
家族書・親族書・宗門書	家族書・親族書・宗門書・受書
手土産(清酒or菓子折)	引物(かつお・砂糖・記念品)
御祝儀・御車料・祝膳料 (仲人様・供人へ)	御祝儀(仲人様へ)
乾杯用の道具(出発時に乾杯)	乾杯用の道具(儀式終了時に乾杯)
念珠(嫁方の先祖を敬う)	掛軸(高砂・鶴亀…)

●当日の服装

	正 装	略 装
仲人(男)	紋付袴・モーニング	略礼服
仲人(女)	留袖	訪問着・付下げ・色無地
父	紋付袴・モーニング	略礼服
母	留袖	訪問着・付下げ・色無地
本人(男)	略礼服	タークスーツ
本人(女)	振袖	訪問着・ワンピース

●結納式・あいさつ(例)

①**婿 親**「今般お宅様のお嬢様〇〇様と私共の長男との婚約には早速ご承諾頂きまして、誠にありがとうございました。本日は心ばかりの印ですが結納のお届けをさせていただきます。幾久しくお受け下さい」

②**嫁 親**「ご結納の品々、目録通り相違ございません。誠に丁寧なお言葉を賜りありがとうございました。またお土産も頂戴致しまして厚く御礼申し上げます。幾久しくお受け致します」

●引出結納式(結納返し)・あいさつ(例)

③**嫁 親**「先程は結構な結納の品を頂きましてありがとうございました。心ばかりの御礼の品でございます。幾久しくお受け下さい」

④**婿 親**「引出結納の品々、幾久しくお受け致します。」

ご結納式・式次第 仲人なし(同時交換・目録有)

ホテルであれ料亭であれ、そこは相手様の家と仮定します。

婿 方	嫁 方
① 嫁方到着 婿方は「おめでとうございます」とごあいさつします。婿方は用意の手土産をお渡します。「手土産でございますお納め下さい」	両親と嫁本人が玄関まで出迎え、飾り付けの部屋へ案内します。
② 結納飾り付け 結納飾りは男性側がセッティングします。ご自宅の場合ご仏壇(嫁方のご先祖様)があればまずお参りする	結納返しの飾りは女性側がセッティングします。先に飾り付けをしておいた場合、別室にて待機(「何かお手伝いすることがございましたらお申し付け下さい」と声を掛けて下がる。)
③ 飾り付け終了 婿方は、別室の嫁方をお呼びします。(1- 図2)の様に着席。扇子を各自正面膝元に置きます。そして、広蓋を自分の脇に置きます。	婿方の指示に従い(1- 図2)の様に着席します。この時は 座布団はお出しません 。扇子を各自正面膝元に置きます。
④ ■結納式 婿方ごあいさつ(-3- ①参照) 婿方より目録を嫁方へお渡しする。 「お改めの上おめでたくお納め下さい」 ●目録は中身を広げてお渡します。 ●家族書等があれば一緒にお渡します。 ●結納金も手渡しでお渡ししても良い。	嫁方ごあいさつ(-3- ②参照) いただいた目録を確認 受書はごあいさつの後に渡す。
■結納返し 婿方ごあいさつ(-3- ④参照) いただいた目録を確認。受書はごあいさつの後に渡す。	嫁方ごあいさつ(-3- ③参照) 嫁方より目録を婿方へお渡しする。 「お改めの上おめでたくお納め下さい」 ●目録は中身を広げてお渡します。●家族書等があれば一緒にお渡します。●袴料も手渡しでお渡ししても良い。
⑤ 結納盃 一同がお神酒を頂きます。(1- 参照)。⑦の直後or 祝宴の最初とするほうが、スムーズな場合もあり。	嫁方が準備。婿方より清酒を頂いた場合、それで乾杯しても良い。ホテルなどの場合事前にシャンパンなどを準備してもらう
⑥ 記念品の贈呈 婿本人から嫁本人へ指輪を贈呈。嫁本人から婿本人へも記念品があれば贈呈(和やかな雰囲気の中一同拍手)絶好の写真タイム	婿本人から嫁本人へダイヤ指輪を贈呈。嫁本人から婿本人へも記念品があれば贈呈(和やかな雰囲気の中一同拍手)絶好の写真タイム
⑦ 二人からのあいさつ 婚約指輪の贈呈に引き続いて、二人が出席者のほうを向いて、ご両親への感謝、決意など二人からの気持を素直にお話頂いたらどうでしょうか。あいさつは彼が代表して行います。 「本日は私達のために、このような席を設けていただきありがとうございました。今日婚約できましたのは、ご両親のお陰と心より感謝しております。頑張っって幸せな家庭を築いていきますので、今後ともよろしくお願い致します。」	
↓ 上記の手順で結納の取り交わしが完了致しました。	↓ 配膳が整うまで昆布茶・干菓子を嫁本人がお出しし、くつろいでいただきます。(座布団はここから使用する)
⑦ 祝宴 和やかに両家の親睦を深めます。また打ち合わせする事があればこの時にしても良いでしょう。	和やかに親睦を深めます。また打ち合わせする事があればこの時にしても良いでしょう。
⑧ お開き 2時間位をめぐり、お開きにします。あまり長居は禁物です。	ここで用意の引出物をお渡しします。

結納受け渡し マニュアル

仲人なし(同時交換・目録有)

結納は、ご両家の親睦を深める、絶好の機会です。思い出深いものにしましょう。ちょっと堅苦しい部分もあるけれど、彼女のご両親に対する“けじめ”の意味もあります。しっかりと誠意を伝えましょう。

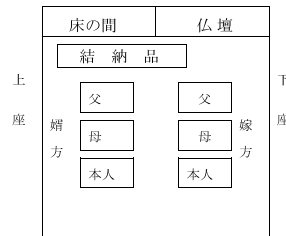
結納受書(例) 三つ折

〇〇家様	右幾久しく御日出度 年 月 吉日 〇〇家	・家内喜多留料金・円也 ・その他 一式 以上	・小袖料 金・円也 ・結美和 個
------	----------------------------	------------------------------	---------------------

上包には御受書と記します

<図1>

着席位置(例)



<図2>

★着席位置については、会場によって異なる場合がありますので確認を。

●結納盃の儀式

- ・結納受け渡し完了時に両家の列席者全員の意思の確認として取り行なわれる儀式です。
- ・嫁方は列席者に土器(ひわらけ)とするめをへぎ台に乗せてお配りします。
- ・注ぎ人は嫁方の親族で女性の方(妹・叔母など)

●引出結納(お返しの結納)について

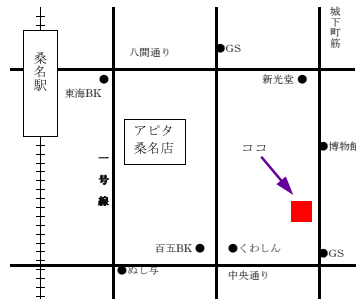
- ・同時交換と言って嫁方からの結納返しを結納の時にお渡しする場合があります。その場合は、事前に婿方・会場側などと十分に打ち合わせをして品物を揃えておきます。
- ・婿方へは青の紙でこしらえた結納飾りを納めます。小袖料(結納金)の1割を袴料。家内喜多留料(酒香料)の1割～半額を諸白料として持参します。また婿本人と婿方の家族に、お土産を持参します。
- ・道具の内容を書き記した荷物目録も一緒に持参します。

★上記の結納返しの説明については、あくまでも一般的な例で、ケースバイケースで異なります。

人生の
およろびの節目に
お客さまの
お後に立ちたいと
願っています
何でも相談できる
小さいけれど
大事な店
そんな店になりたいと
思います

この度は、ご良縁誠におめでとうございます。婚礼に関することは、何なりとお尋ね下さい。

★E-mailでもご質問をお受けしています。



結納ドットコム

【運営】榊小林結納店

511-0086
三重県桑名市入江葭町 68

電話：0594 (22)7637 Fax：0594 (22)7686
営業時間：9:00～18:30 木曜定休

【E-mail】 info@yuinou.com
【ホームページ】 http://www.yuinou.com/

■ホテル花水木特約店

広 蓋(ひろぶた)

結納金を相手方にお渡しするときに使用します。結納は家としての大切な行事なので、家紋を入たものを使用します。切手盆・祝儀盆と呼ばれる小さ



立山 ¥56,000

- 広蓋(高岡塗) ¥30,000～
- 掛ふくさ(塩瀬) ¥11,000～
- 風呂敷(白山紬) ¥15,000～

定紋表は下記の通りです。定紋以外の紋の価格・納期はお問い合わせ下さい。



▲定紋表一覧

■結納箱を包む風呂敷も家紋入りでできます



風呂敷に家紋を入れるだけで、御家の格がワンランクアップします。
【生地】綿100%

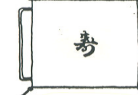
上記定紋の中にご希望の家紋がない場合は別誂。但し下記の種類の風呂敷とサイズのものには記載の家紋のみ。

<使い方>

①結納金を乗せる



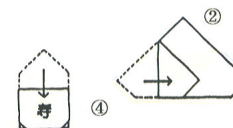
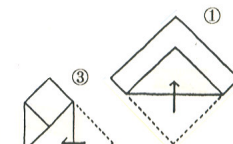
②掛ふくさを掛ける



③風呂敷で包む



<風呂敷の包み方>



■綿シャンタンの3巾

- (5)寿
- (7)丸に片喰
- (9)丸に三つ柏
- (11)丸に違い鷹の羽
- (13)丸に横木瓜
- (20)丸に鶯
- (6)丸に剣片喰
- (8)丸に偶立四つ目
- (10)丸に橘
- (12)丸に梅鉢
- (14)丸に抱き若荷

■綿ブロードの3巾

- (1)五三の桐
- (5)寿